



## 2023年3月期 第1四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2022年8月3日

## 2023年3月期 第1四半期実績

## 第1四半期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
米国生産	67	70	+4
国内生産	117	135	+18
<b>生産台数* 合計</b>	184	<b>205</b>	+22

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	175	<b>196</b>	+21

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

初めに生産台数および連結販売台数についてです。

生産台数については、  
半導体の供給不足等による生産調整や、  
上海ロックダウンの影響で4日間の国内操業停止があったものの、  
前年度に対し2万2千台の増となる20万5千台となりました。

連結販売台数については、  
重点市場である米国での台数増加により、  
前年度に対し2万1千台の増となる19万6千台となりました。

第1四半期実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
登録車	19	16	-3
軽自動車	5	4	-1
<b>国内合計</b>	24	20	-4
米国	117	139	+22
カナダ	12	11	-1
欧州	3	5	+1
豪州	7	9	+2
中国	4	3	-1
その他	8	9	+1
<b>海外合計</b>	151	175	+24
<b>合計</b>	175	196	+21

市場別連結販売台数実績についてはご覧の通りです。

## 第1四半期実績 連結業績

(億円)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
売上収益	6,352	8,341	+1,989
国内	1,130	1,271	+140
海外	5,222	7,070	+1,849
営業利益	295	370	+74
税引前利益	343	384	+42
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	185	272	+87
為替レート US\$	¥109	¥125	+¥16
EURO	¥131	¥134	+¥3
CAN\$	¥88	¥97	+¥9

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

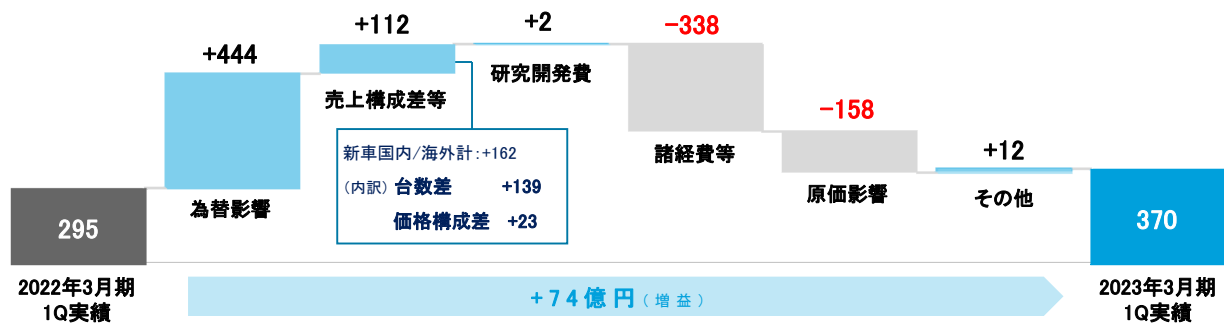
5

続いて、連結業績です。

売上収益は、  
為替レート差+990億円、  
販売台数増による売上構成差+1,014億円等により、  
前年同期比1,989億円の増収となる8,341億円となりました。

営業利益は、  
前年同期比74億円の増益となる370億円となりました。

また、税引前利益は42億円の増益となる384億円、  
親会社の所有者に帰属する四半期利益は87億円の増益となる272億円となりました。



為替影響	+444	売上構成差等	+112	諸経費等	-338	原価影響	-158
US \$	+375	新車国内	-14	製造固定費	-69	販管費	-23
EURO	+2	新車海外	+176	SUBARU	-74	SIA *1	+5
CAN \$	+18	販売奨励金	+13	外製型費	-54	外製型費	+8
中国元	+1	その他	-63	固定加工費	-20	固定加工費	-3
仕入為替調整	+111					SOA *2	-13
未実現利益分	-63					SCI *3	+4
						その他	+26
						保証修理費	-246
						SUBARU	-108
						SIA *1	-50
						原価低減	+10
						原価低減	+3
						原材料・市況等	-118
						原材料・市況等	-53

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

諸経費等の増加や原材料・市況等が悪化しましたが、USD約16円の円安を主因とする為替影響で+444億円、販売台数の増加および販売価格の改定等により売上構成差等で+112億円となり、前年同期に対し74億円の増益となりました。

売上構成差等の内、台数差で+139億円、価格構成差で+23億円となりました。

また、期末在庫の未実現利益消去額が増えたことにより約200億円の減益となりました。この約200億円はスライドには記載していませんが、消去額のうち、為替に関わる部分は下段表にあります「為替影響」の「未実現利益分」に、台数・単価に関わる部分は「売上構成差等」の「その他」に内数として含めております。

尚、保証修理費246億円の減益要因には、前年度末同様、急激な円安による製品保証引当金残高の為替換算影響約160億円を含みます。

米国市場向け販売奨励金については、前年同期の台当たり1,100ドルに対し200ドル減となる900ドルとなりましたが、販売台数の増加に伴い、奨励金総額としては4億円の増加となりました。

## キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	
営業活動によるCF	201	1,323	
投資活動によるCF	-550	-578	
フリーCF	-349	746	
財務活動によるCF	-342	-351	
現金及び現金同等物の為替影響額	2	688	
	2022年3月末	2022年6月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	8,831	9,913	+1,082
有利子負債 期末残高 *	3,340	3,314	-26
ネットキャッシュ	5,490	6,599	+1,109

\*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは746億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し、為替変動の影響688億円を含んだ1,082億円増となる9,913億円、

有利子負債残高は、前期末に対し26億円減の3,314億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し1,109億円増の6,599億円となりました。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
設備投資 *1	192	280	+88
減価償却費 *1	228	238	+10
研究開発支出 *2	271	231	-41

\*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。



## 2023年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	増減
米国生産	272	-	-
国内生産	455	-	-
<b>生産台数* 合計</b>	727	<b>1,000</b>	+273

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	増減
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	734	<b>940</b>	+206

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

続いて、2023年3月期 通期計画についてご説明いたします。

年度決算発表以降、当社を取り巻く状況が変化していることは認識しているものの、依然として先行き不透明な状況が続くと考えられることから、期初に発表した計画を据え置きとし、チャレンジ目標として発表した生産台数100万台をはじめ、連結販売台数94万台、営業利益2,000億円の達成に向けて今後も邁進いたします。

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	増減
登録車	73	91	+18
軽自動車	17	24	+7
<b>国内合計</b>	89	115	+25
米国	506	636	+130
カナダ	49	53	+3
中国	14	19	+5
その他	75	118	+43
<b>海外合計</b>	645	826	+181
<b>合計</b>	734	940	+206

市場別の連結販売計画につきましても、期初の発表値から変更はありません。

下期以降、米国での景気後退の懸念の声はございますが、現時点での営業現場の声やバックオーダー数等の状況を踏まえると、米国市場での当社に対する需要は強く、1台でも多く車を生産し、お客様の元へスムーズにお届けできれば、連結販売台数94万台は達成できると考えております。

## 通期計画 連結業績

(億円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	増減
売上収益	27,445	35,000	+7,555
営業利益	905	2,000	+1,095
税引前利益	1,070	2,000	+930
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	700	1,400	+700
為替レート US\$	¥112	¥120	+¥8
EURO	¥130	¥130	-¥0
CAN\$	¥89	¥95	+¥6

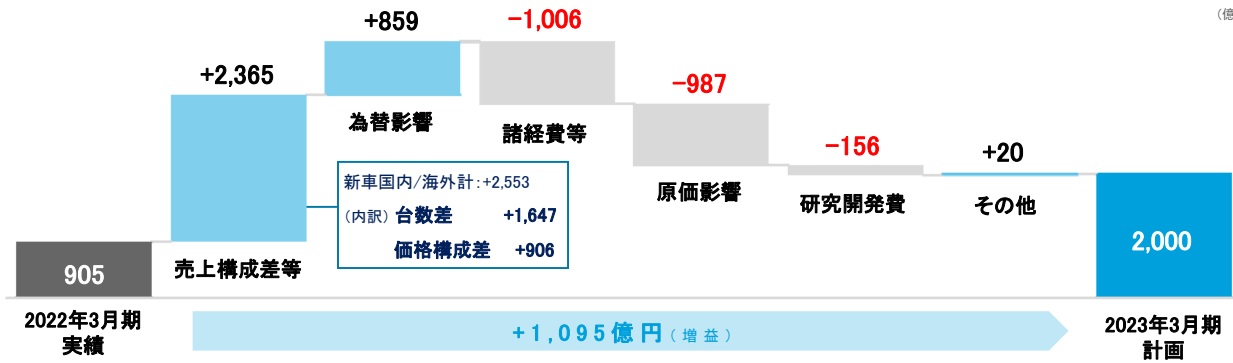
続いて、連結業績です。

売上収益、損益計画につきましても、期初の発表値から変更はありません。

前年実績対比

通期計画 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差等	+2,365	為替影響	+859	諸経費等	-1,006	原価影響	-987					
新車国内	+261 US \$	+932	製造固定費	-262	販管費	-346	保証修理費	-398	SUBARU	-654	SIA *1	-333
新車海外	+2,292 EURO	-1	SUBARU	-225	SIA *1	-37	SUBARU	-208	原価低減	+28	原価低減	+27
販売奨励金	-406 CAN \$	+55	外製型費	-99	外製型費	-30	国内ディーラー	-26	原材料・市況等	-682	原材料・市況等	-360
その他	+218 中国元	-	固定加工費	-126	固定加工費	-7	SOA *2	-89				
			仕入為替調整	-73			SCI *3	-16				
			未実現利益分	-54			その他	-7				

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

こちらも変更はありません。

今後の不確定要因として、

半導体供給課題の継続や原材料・市況等の更なる高騰、為替等を認識していますが、

全社一丸となって、諸経費等の削減や原価のコントロール等、

営業利益2,000億円達成に向けて取り組んでまいります。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	増減
設備投資 * 1	861	1,400	+539
減価償却費 * 1	946	1,000	+54
研究開発支出 * 2	1,138	1,200	+62

\* 1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\* 2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

最後に、設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

いずれも前回の発表値から変更はありません。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2023年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。

## ご参考

- ・ セグメント情報（事業別 / 所在地別）
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 2022年3月期及び2023年3月期実績（四半期別）
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

## 第1四半期実績 事業セグメント情報

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減	2023年3月期 通期計画	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減	2023年3月期 通期計画
自動車	6,177	8,181	+2,004	34,092	287	364	+77	1,992
航空宇宙	163	148	-15	863	-8	-21	-12	-16
その他	12	12	+0	44	16	26	+10	24
消去・全社	-	-	-	-	0	0	±0	-
合計	6,352	8,341	+1,989	35,000	295	370	+74	2,000



## 第1四半期実績 所在地別セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
日本	1,585	1,799	+214	96	149	+54
北米	4,482	6,230	+1,748	274	451	+177
その他	284	312	+28	12	21	+9
消去・全社	-	-	-	-86	-251	-165
合計	6,352	8,341	+1,989	295	370	+74

## 第1四半期実績 海外売上収益

(億円)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
北米	4,603	6,301	+1,698
欧州	156	188	+31
アジア	210	239	+28
その他	252	343	+91
合計	5,222	7,070	+1,849

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2022年3月末	2022年6月末	増減
<b>資産合計</b>	35,438	<b>37,397</b>	+1,959
流動資産	20,422	<b>22,059</b>	+1,637
非流動資産	15,015	<b>15,337</b>	+322
<b>負債合計</b>	16,427	<b>17,552</b>	+1,124
有利子負債	3,340	<b>3,314</b>	-26
<b>資本合計</b>	19,010	<b>19,845</b>	+835
利益剰余金	14,663	<b>14,719</b>	+56
親会社の所有する帰属持分	18,908	<b>19,737</b>	+830
親会社の所有者に帰属する持分比率	53.4%	<b>52.8%</b>	-0.6%
D/Eレシオ	0.18	<b>0.17</b>	-0.01

## 第1四半期実績 単独販売台数

(千台)

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
国内生産*	117	135	+18
国内売上	21	20	-1
登録車	16	16	-0
軽自動車	5	4	-0
輸出台数	96	107	+11
海外生産用部品	89	70	-20
単独合計売上	207	197	-10

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

第1四半期実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
売上高	3,796	4,484	+688
営業利益	249	280	+31
当期純利益	205	174	-31
小売販売台数(千台)	160	131	-29
SIA *2	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	増減
売上高	1,753	1,916	+164
営業利益	-45	-45	-0
当期純利益	-36	-33	+2
生産台数(千台)	67	70	+4

\*1 SOA: Subaru of America Inc. \*2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2022年3月期および2023年3月期実績(四半期別)

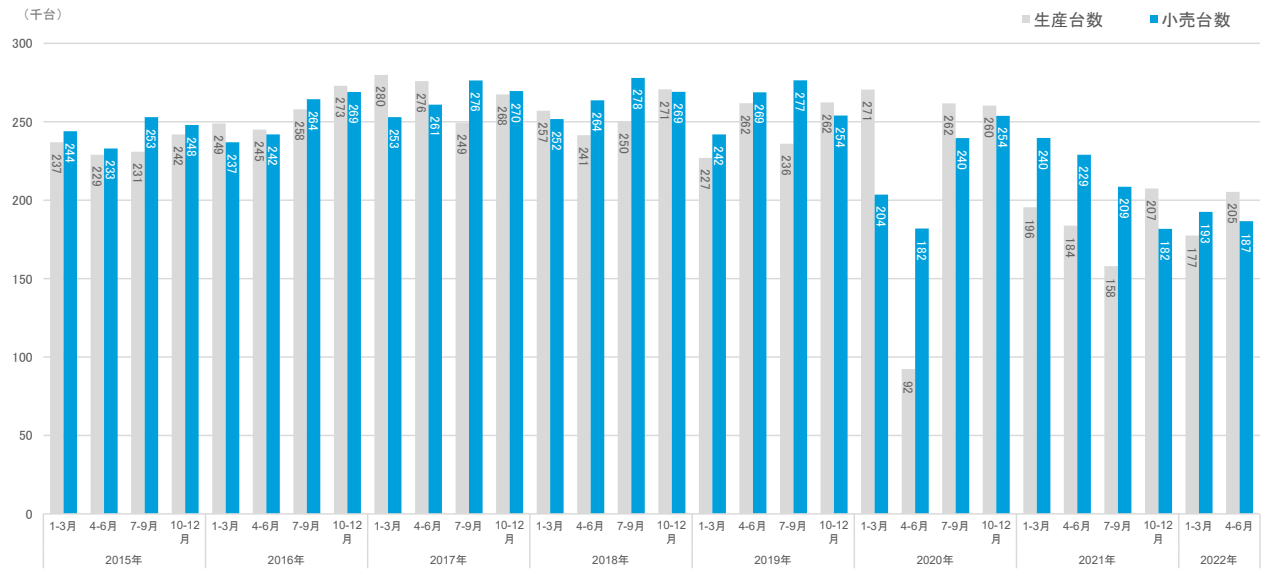
(億円)

	2022年3月期				2023年3月期
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績
連結販売台数(千台)	175	200	172	187	196
生産台数*(千台)	184	158	207	177	205
売上収益	6,352	7,065	6,659	7,370	8,341
営業利益	295	249	227	133	370
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	185	263	181	71	272
為替レート US\$	¥109	¥110	¥113	¥115	¥125

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# 生産台数 / 小売台数 推移



\* 生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



**SUBARU**

本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。